

2.4 学校評価計画（嘉島町立嘉島西小学校の例）

【ポイント】

学校経営方針の具現化のために、学校評価がより機能するように、「目的」「基本的な考え」のもと、「学校評価の内容（何を評価するか）」「学習評価の方法（どのように評価するか）」「結果分析・公表・報告（どのように生かすか）」について記載されています。

1 目的

- (1) 学校教育目標の具現化のために、学校が児童の学習状況や教育課程の実施状況に関する点検・評価を行い、その成果や課題を明らかにしながら学校運営や教育活動の改善をするために実施する。
- (2) 学校評価の過程や結果を保護者や地域住民に説明、公表することで、学校の説明責任や結果責任を果たし、開かれた学校づくりを進めるために実施する。

2 基本的な考え方

- (1) 学校改善につなげる。
 - P D C A のサイクルを機能させる。
 - ① Plan → 学校が組織として取り組むべき具体的な目標を明確にして、
 - ② Do → 全職員が一体となって目標実現に向けた活動を展開し、
 - ③ Check → 結果として目標がどれだけ実現・達成できたかをだれにでも分かる形で評価し、
 - ④ Action → 次学期や次年度、どこをどのように改善していったらよいかを明確にする。
- (2) 客観的な評価を行う。
 - 学校職員ばかりでなく児童、保護者、地域住民の評価システムへの参画を推進する。
 - ・ 内部評価（職員）と外部アンケート（児童、保護者、学校評議員等）を行う。
 - 数値化の導入をすすめる。
 - ・ 数値化（4段階評価、5段階評価等）を行う。
- (3) 説明責任、結果責任を果たす。
 - P T A 総会や学級懇談会等の各種会合で保護者や地域住民を対象に説明を行う。
 - 学校だより等で随時、学校評価の途中経過や結果を保護者、地域に伝達する。

3 学校評価内容

- ア『教育活動』を対象にした評価
- ・ 学校の教育方針を受けて、その実現や課題解決のための教育活動評価
- イ『運営活動』を対象にした評価
- ・ 児童の教育活動を支えるための教職員の運営活動評価
- ウ『成果』を対象にした評価
- ・ 児童の変容評価

4 学校評価方法

	名称 (対象)	内 容	時期	担 当
1	教育活動評価 (職員)	○教育活動全般について、全職員が4段階評価と所見で評価する。結果を分析後、次学期・次年度の改善策を立て実践する。 ○人事評価の実践事項とも関連させる。	7月 12月 3月	教務主任
2	行事評価 (職員)	○学校行事や創意活動等について所見等で反省や改善案を記入し、次年度に生かす。	随時	各行事担当

